



2015年10月 第402号

# スズキ労連

第44回  
定期大会  
特集号

スズキ関連労働組合連合会  
静岡県浜松市南区増楽町20  
電話〈053〉447-3079  
発行人 根木一暢  
編集人 金子孝枝

## 第44回定期大会開催 “確かな暮らしの明日”に向け、44期がスタートしました!

43期・44期スローガン

### 広げよう仲間の輪 力を合わせみんなで築こう! 確かな暮らしの明日

スズキ労連は、9月13日(日)にSUN会館にて第44回定期大会を開催しました。加盟労組、支部から代議員138名(男性120名、女性18名)、傍聴者41名(男性39名、女性2名)が参加しました。今大会は、昨年の大会で確認された2年間の活動方針の中間期になり、1年間の活動を確認し、予定していた議案も全て可決されました。43・44期のスローガン“広げよう仲間の輪 力を合わせみんなで築こう! 確かな暮らしの明日”のもと今期も労働組合としての社会的役割をより一層自覚した上で、活動を推進してまいります。引き続き皆様のご理解ご協力と、各種活動へのご参加を宜しくお願いいたします。



#### 【参加者】

代議員138名(男性120名、女性18名) 傍聴者41名(男性39名、女性2名)  
来賓5名 顧問5名 執行部27名 書記2名 会計監査2名

#### 【議件】

- 1) スズキ労連規約改定の件
  - 2) 第44期予算(案)の件
  - 3) 顧問委嘱の件
- 特別決議 第24回参議院議員選挙必勝決議(案)

#### 【報告承認事項】

- 1) 第43期活動経過報告
- 2) 第43期会計決算報告
- 3) 第43期会計監査報告

#### 【各種委員】 ☆印は各委員長

◎資格審査委員：4名

☆中島 大輔(スズキ労連中執)  
白井 晴行(スズキ労組)  
鈴木 将人(スズキ販売労組)  
大林 英之(スズキ納整労組)

◎議事運営委員：4名

☆野沢 卓志(スズキ労連中執)  
増田 晴彦(ベルソニカ労組)  
二田 洋(スズキ部品秋田)  
渥美 雅之(スズキファイナンス労組)

◎書記：2名

鈴木ひとみ(スズキ部品製造労組)  
山田 知美(スズキ労連)



冒頭、根木会長が執行部を代表して挨拶



◎議長団：2名

左：竹内 善治(スズキ労組 相良支部)  
右：馬淵 一樹(スニック労組 竜洋パイプ支部)

## ご来賓挨拶

大会の来賓として、自動車総連の相原会長、連合静岡の池富会長、自動車総連組織内議員の直嶋正行参議院議員、いそぎき哲史参議院議員にご臨席を賜りご祝辞を頂きました。

- ・自動車総連の相原会長からは、優れた城主の話为例に、自分の弱み、組織の弱みを自覚し、それに対して果敢に挑戦しながら職場にある良い意見を積み、かたちにしていって欲しいとお話頂きました。
- ・連合静岡池富会長からは、まち・ひと・しごと創生会議への参画の話、働き方の見直しについてなぜ今それが必要なのか？長時間労働、育児、ワークライフバランス、メンタルヘルス、介護については、働く私たち自身が考えていかなければ企業自体が魅力ある職場としての人材確保ができないのではないかとお話頂き、労働者派遣法成立についても長期にわたる運動へのお礼と、今後も引き続き私達のできることを考え実施していきたいとお話頂きました。
- ・直嶋正行参議院議員からは、直近の東北・関東での豪雨災害など気候変動の影響が顕在化してきていることに触れ、防災、減災への対応も政治の役割であることや人口減少問題については、日本も50年後の労働力人口は現在の半分に激減してしまうことから、現在の私たちが解決し、乗り越えていかなければいけない課題であるとお話頂きました。
- ・いそぎき哲史参議院議員からは、議員になって2年が経ち、政治は数の力、野党としての活動が大変悔しい一年であったことの振り返りと、民主党オートバイ議連を立ち上げ、7月に総会を行ったことをご報告頂きました。引き続き果実になる活動をしていきたいとお話頂き、派遣法成立についても法律は守らなければならないが、法律を上回ることはなんら問題ないので働くものにとって最適な働き方を労働組合として考えて欲しいとお話頂きました。



自動車総連 会長 相原康伸 様



連合静岡会長 池富彰 様



自動車総連 組織内議員 参議院議員 直嶋正行 様



自動車総連 組織内議員 参議院議員 いそぎき哲史 様

次期参議院議員選挙で自動車総連組織内候補予定者のはまぐち誠様からは、昨日までに2万人を超える人とお会いすることができた事、スズキ労連加盟の働く皆様のところにもご挨拶させて頂き、多くの皆さんとお会いする中で、産業の将来、日本の未来、自分たちの生活の将来に対して、不安や心配事があることを認識させて頂いた。その気持ちに向き合っ、皆さんの代弁者として国政の場で仕事をしたいと決意を新たにしていると熱く語られ、政策の三本柱である「暮らしの安心」「働くことの安定」「産業の活性化」を働く皆さんの明るい未来のために取りくみたいとお話頂きました。



次期参議院議員選挙 自動車総連組織内候補予定者 はまぐち誠 様

## スズキ労連 根木会長の挨拶

本日は、スズキ労連第44回定期大会に、全国各地から代議員・傍聴の皆さんにご参集いただきありがとうございます。

本日の定期大会は、昨年の大会で確認された2年間の活動方針の中間期になります。これまでの1年間の活動を検証するとともに、今後1年間の運動を確認していく大会となりますので、活発な意見交換により実りある大会となるように、よろしくお願いします。



### 〈1.取り巻く環境〉

日本経済は緩やかに回復しているものの、未だ個人消費に弱さが見られるなど、経済が好循環するまでには至っていません。また先行きも、消費増税の影響な

ど注視する必要があります。

日本は、2008年をピークに少子・高齢化社会を背景に、人口減少問題に直面し、経済・社会の持続性そのものが問われています。そこで、政府は、これら喫緊の課題に対応するため、昨年9月に「まち・ひと・しごと創生本部」を発足させました。

総務省の公表によると、静岡県では、県外へ転出する人が、県内へ転入する人を上回る「転出超過」が、都道府県別では北海道に次いでワースト2位となっています。

人口減少は、労働力の確保という「命題」への適切な対応が、政労使に求められています。

自動車産業を取り巻く環境は、自動車関係諸税の課題、特に軽自動車税の引上げの動向や、TPPをはじめとする経済連携協定の締結協議、エネルギー政策の動向など課題が山積しています。

これらの、自動車産業に大きな影響を与える、政策・制度課題について、産業の健全な維持・発展を目指した活動に、自動車総連と連携を図りながら取り組む必要があります。

スズキ労連は、スズキグループ内の課題や、各業種にまたがる課題などに対し、経営側にしっかりと伝えた上で、私達の知恵と工夫で解決していく事が求められています。私たちは、組合活動をより充実させ、労働条件をはじめとする雇用環境の維持・向上をしていく事が大切と考えます。

## 〈2.今年春の取り組み〉

2015年総合生活改善の取り組みについて、スズキ労連は、連合、自動車総連の方針に基づき「すべての単組は、様々な観点を総合勘案し、6,000円以上の賃金改善分」を設定しました。

一時金は、「年間協定の重みを踏まえ、賃金との同時決定を目指す。」として取り組みを進めました。

所定労働時間短縮については、製造・輸送部門の9組合が共闘し、1952時間の所定労働時間に向けた要求を組み立てました。

・結果として、賃金引上げは、要求の大前提である賃金制度維持分または賃金カーブ維持分をスズキ労連・全14組合が確保することが出来ました。賃金改善分については、13組合が獲得。年間一時金は、スズキ労連全体の平均獲得月数が、5.36か月となり、自動車総連全体の平均獲得月数4.32か月と比べても高い水準を確保する事が出来ました。

所定労働時間短縮については、「短縮に向け継続協議をしていく」との次につながる回答を引き出すことが出来ました。

・総合生活改善の取り組みは、労働組合が賃金引上げや一時金を要求するだけでなく、交渉を通じて労働組合の考え方や組合員の実態を経営側に伝えると共に、経営側から経営方針・経営状況や課題などについての情報提供や詳細説明を受ける事で労使の認識を共通にする重要な機会と捉えています。

## 〈3.統一地方選挙について〉

今年4月の統一地方選挙では、田口章静岡県議会議員、そして、徳光卓也浜松市議会議員の組織強化活動に対しご理解とご協力をいただき、二人そろって二期目の当選を果たすことが出来ました。改めて、皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。

## 〈4.次期参議院議員選挙〉

前回の第23回参議院議員選挙では、皆さんの絶大な活動推進により私たちが推薦した「いそぎき哲史」さんが、比例代表でトップ当選をする事が出来ました。心から感謝申し上げます。

そして、来年7月には、第24回参議院議員選挙があります。自動車産業で働く私達が将来にわたり希望や期待が持てる社会、すなわち暮らしの安心、働く事の安定、産業の活性化に取り組んでいただくためには、引き続き自動車産業の代表を送り込む必要があります。

スズキ労連では、本年1月に開催した中央委員会において、次期参議院議員選挙(比例代表)の候補予定者として「はまぐち誠さん」を推薦決定しています。

本日は、「はまぐち誠さん」からご挨拶をいただくと共に、本日参加の皆さんから職場の組合員へ支援の輪を広げていただく事をお願いします。

## 〈5.人づくりの教育活動〉

この一年間は、組織強化の基本として、人づくりの教育活動に力を入れて来ました。

具体的には、役職別研修会として、三役研修会、執行委員研修会、新任執行委員研修会から始まり、政策制度・政治研修会、女性委員会、ヤングリーダー研修会などを実施することにより組合役員の資質向上に努めました。後半期の1年間も、しっかりと「人づくり」活動を推進して行きますので積極的にご参加の程、よろしくをお願いします。

スズキ労連では、「組合活動の見える化」を目的として、毎月「スズキ労連・情報」を発行しています。また、「ホームページのブログ」にも、労連の活動状況を掲載していますので、時間のある時に見ていただき組合員への周知をお願いします。

## 〈6.海外の労働組合との連帯について〉

スズキグループの連結決算によると、売上高は、3分の1が国内、3分の2が海外となっています。そこで、スズキグループがグローバルに発展していくためには、海外労使紛争を未然に防止する事が重要となります。そのために、海外労組とのネットワーク構築に向けて検討をしていきます。

## 〈退任者の紹介とお礼〉

会社統合に伴い、「旧・浜松パイプ労働組合、鈴木委員長」と「旧・スズキ化成労働組合、河合委員長」が、労連役員を退任されます。

お二人には、これまでの活動に感謝を申し上げると共に、今後もスズキ労連の活動にご協力をお願いします。

## 〈最後に〉

最後に、スズキ労連をチームスズキとして一丸となって組合活動を更に発展させるため、皆様のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げ、執行部を代表しての挨拶とさせていただきます。共にがんばりましょう。ありがとうございました。

## 報告承認事項

- 1)第43期 活動経過報告(提案者:渡部事務局長)
- 2)第43期 会計決算報告(提案者:遠山副事務局長)
- 3)第43期 会計監査報告(提案者:佐藤会計監査人)

拍手にて承認



提案者の渡部事務局長



提案者の遠山副事務局長



提案者の佐藤会計監査人

### 〈質疑〉

#### Q.1

ヤングリーダーの活動について、ヤングリーダーの研修会に参加された方は非常に喜んでいました。しかし研修会を行った後の組織内での展開が出来ていないので、今後そういった所も含めて研修会の中で教えて頂きたい。

また職場の声としてヤングリーダーの名称が分かりにくいという声が結構出ている。今の時代「ヤング」という言葉は若い人達は使わない気がするので、もう少し分かりやすい言葉に変えていくと親しみが持てる。他団体の名称も参考に是非検討頂きたい。(質問者:スズキ労組高塚支部 西條代議員)

#### A.1

質問ご意見ありがとうございます。全体を通して真摯に受け止めたいと思います。ヤングリーダーで支部として参加した後の組織内の展開について検討していきたいという点ですが、この点については我々も同じ認識であり、研修会を受けた人が職場に広げようというアクションをしていくのが重要だと思っています。その意味では個人のスキルアップも大変重要だと思っているので両面で進めて行きたいのですが、1年間に1回しか開催をしていないということもあり、なかなか継続した進め方を労連だけで引っ張っていくというのが難しいと思います。その点についてはどうやって組織内で展開していくかを中央執行委員会の中で議論をしてしっかりと決めていきたいと思っています。職場から「ヤング」という言葉は古いじゃないかという声があると伺いました。名称は変えるべきかと思っています。しかしながら、組合の歴史も色々あり、しっかりと議論をした上でどういう名前が良いのか、あるいは目的をしっかりと伝えるのか等良い方法を考えていきたいと思っています。(答弁:渡部事務局長)

#### Q.2

女性委員会・研修会についての要望、提案。女性委員会が立ち上がった時から参加させて頂いているが、まだ、立ち上がって間もないという事で、職場に女性委員をお願いする際に、女性委員会の目的とか活動内容など理解されてなくて選出に大変苦労している。女性委員会・研修会の活動の計画や実績をもう少し分かりやすく展開をして欲しい。特に計画をお願いしたい。

次に、委員会と研修会の内容が個人レベルのスキルアップの研修になっている。それも大事だが、委員会と言う以上はやはり組合の女性役員の比率の向上や、実際に苦労している点などを話しあって、職場に展開していく形にしていけないと後に繋がっていかないとと思う。内容についてももう少しご検討して頂きたい。(質問者:スズキ労組高塚支部 大橋代議員)

#### A.2

女性委員をお願いするにあたって特に計画、目的をはっきりとさせて欲しいというのはまさにご指摘通りだと思います。中央執行委員会で目的や計画など出していますが、それも職場にどうやったら伝わっていくのかということをも明確にして進めて行きたいと思っています。委員の研修会で個人のスキルアップ的な研修になっていて、職場と共有できる内容ではないのご指摘を受けました。先ほどのヤングリーダーと同様ですが女性委員会を開催する目的というのは、スズキ労連に14の組合があり、違う業種、職場で働いている人が居て、だけど悩んでいる事は一緒なんだというのを掴んでもらう為に委員会をそもそも設置しており、その困りごとを議論していく場にしたいと思っています。残念ながら去年は12月に衆議院選挙が入った関係で、女性委員会が1回開催出来なかった事があり、その議論の場を作る事が出来ませんでした。今期も年2回の開催を予定しています。この日程、計画についても皆さんにしっかりと伝えて、委員の方

に積極的にご参加頂けるように進めていきたいと思ひます。(答弁：渡部事務局長)

### Q.3

みんなの写真コンテストは、今回大会会場に掲示してありますが、機関紙は白黒印刷で今ひとつ実感が湧かなかった。今日実物を見てこんな綺麗な写真なのだと知った。特にランドセルの写真はカラフルで、せっかく綺麗な写真なのに白黒では、残念だった。例えば労連のホームページ等でコンテストの写真を見られるようになど検討して頂けたらと思う。ホームページを見たらトップページの最終更新が2013年になっていたの最新ニュースでそういった所のメンテナンスもお願いしたい。(質問者：スズキ労組高塚支部 神谷代議員)

### A.3

写真コンテストの機関紙ページが白黒だったので残念だったという事で、コストばかりに意識が向いていた点は反省すべき点かと正直に思っています。本日のように掲示が出来れば良いですが、なかなか掲示が出来ないという組合もあります。また、今まで写真コンテスト募集する時に募集ポスターをやっていましたが、今回は結果報告ポスターをカラーで作って各組合にお配りしていますのでぜひ組合掲示板に掲示する、あるいは食堂に許可を頂いて掲示するなど人の目に触れるようにして頂ければと思います。ホームページの更新についてですが、スズキ労連ブログは月に1回程度更新しています。トップページのニュースとブログの更新にリンクが貼れていないので、サーバー会社とも相談しながら更新が出来るように検討して行きたいと思ひます。(答弁：渡部事務局長)

※現在はスズキ労連HPブログに「写真コンテスト」の入賞作品を掲載し、トップページも更新しております。

### Q.4

写真コンテストの情報誌、カラーだったら、組合員さんがこれ凄いなあと思ひ、私も参加しようかなと思ってくれるのでは?と感じたので、是非コストの事もあるかと思うが、場合によっては是非カラーでやって頂けるとコストに対して効果も大きいと思う。

女性委員については、私達支部でも女性の組合役員を選ぶのに非常に苦勞をしている。多分他の組合でも色々な壁にあたっていると思うが、そういった点を女性委員会でお話しをして頂き、「こういうやり方で一歩進んだ」とか「女性の力をこういった所で発揮させてる」とか「組合じゃなくても職場の役職者がこんな感じで増えてる」など、お互いに色々な組合の人たちが話し合い、それを各組合・職場に持ち寄ってもらい、私は支部長として、他の組合の取組み、成功事例、活用方法などの情報も知りたいと思ひるので、今後検討をお願いしたい。(質問者：スズキ労組高塚支部 西條代議員)

### A.4

写真コンテストの機関紙掲載については、効率的効果的なものになるよう、しっかりと組合員さんに伝えるということを考えて行きたいと思ひます。

女性委員の選出に大変苦勞をしているということは十分に認識をしていますが、どのように選ばれてきたかなど、女性委員同士が共有できる場があると良いという意見がありましたので、しっかりと女性委員会の中で共有し、それが各組合のトップあるいは役員の方にしっかりと伝わるようにして、労連としてもよりよい活動にしていきたいと思ひています。(答弁：渡部事務局長)



質問者の西條代議員



質問者の大橋代議員



質問者の神谷代議員

拍手にて承認

# 議件

## 1)スズキ労連規約改定の件(提案者:山本副会長)

規約改定 開票結果発表

開票結果 投票総数 135票 有効投票 134票 無効 1票

可決



提案者の山本副会長

## 2)第44期予算(案)の件(提案者:遠山副事務局長)

### 〈質疑〉

#### Q.1

文体活動費が減額されている点で、説明では執行率が少なかったとのことですが、今回スズキ労連の写真コンテストで磐田支部は2人が入賞した。2人共喜んでいて、そのうちの1人はランドセルの写真の人です。

良い活動なのに予算が縮小されると活動も縮小していく傾向にあるので、労連の文体担当者会議の中で、もう少しみんなが参加出来る仕掛けを議論する必要がある。組合費を払っている組合員のみんなが参加する事が大切だと思うので、是非来期は予算を100%使いきるような取り組みをお願いしたい。(質問者:スズキ労組磐田支部 横間代議員)

#### A.1

写真コンテストについてですが、今回で4回目の開催となりました。年々参加人数、応募数が増えていますのでその数を見込んで予算立てをしています。文体担当者会議等で議論しつつ中執で確認し、更なる文体活動の発展に努めて行きたいと思います。(答弁:遠山副事務局長)

予算を減額している点ですが、写真コンテストの費用は減額していません。見直しをしているのは労連賞の予算で、例年全14組合が申請してもよい予算立てをしていましたが、申請ベースで見直しをしています。労連賞についても各組合から積極的に申請頂き、仮に予算が足りないとなれば中央執行委員会、中央委員会にて予備費にて拠出することを提案するなど、活動の充実に取り組んでいきます。(答弁:渡部事務局長)

#### Q.2

写真コンテストの予算を立てるときは組合毎に何%位を目標にして周知して集めていくという考えでやたらどうか?組合員数の何%位の方に参加してもらえるような活動を行うという考えで予算を立てていったらどうか。

安全標語は、いつもより2000件位少なかったが、高塚支部でもかなり少なかった。原因としては展開をする時期がほんの1、2週間ずれ、職場毎の安全衛生委員会で労連としてはこういう活動しているという呼びかけが出来なかったからです。展開する時期を是非前倒してそれぞれの組合の安全衛生委員会に絡められるような形に展開していただけたらまた伸びてくるのではと思う。予算もかなり減っているの、これも全員参加を目標に、半分以上参加の予算立てをされた方が結果駄目だったとしても活動としてはそういった予算立てをしたらどうかと思う。

また、特別会計の非常積立金、別途積立金が半分になっている理由を説明してほしい。(質問者:スズキ労組高塚支部 西條代議員)

#### A.2

文体活動に何%が参加してもらえるのか考えて予算立てをとという点ですが、この点についてはどれくらいの規模で参加してもらうのが良いのか検討して行きたいと思います。

安全標語の展開時期が遅れてしまうとその募集も遅れていくといううは十分に認識しております。しかしながら、安全週間での取り組みですから、例年同じ時期に展開しております。各組合でも事前告知などして頂ければ、より募集が集まるのかなと思っておりますので是非積極的な活用をお願いします。

特別会計の繰り入れの件ですが、今回活動を充実させていくため、教育やその他の活動に予算を割り当てています。また、前年越えの予算が良いのかという点を内部でも検討しました。単年度で見れば今の予算をすべて執行すると繰越金を使うという形になってしまいます。加えて、特別会計についてはどの程度の額が必要なのかということも見極めが必要だと思いますので、44期についてはまず半分にしてみて、前年予算を上回る事が無いようにしました。今後も繰越金、特別会計についてはどの程度必要なのか引き続き検討していきますのでよろしくをお願いします。(答弁:渡部事務局長)

挙手にて可決(満場一致)

### 3)顧問委嘱の件 (提案者：佐藤副会長)

- スズキ労連 政治顧問  
田口 章 静岡県議会議員  
徳光 卓也 浜松市議会議員



田口章 静岡県議会議員



徳光卓也 浜松市議会議員

- スズキ労連 特別顧問  
加藤 幸博 全国労働金庫協会 専務理事  
古川 正明 静岡県労働金庫 理事長  
小玉 俊己 東北労働金庫 常務理事



全国労金協会 加藤専務理事  
(元スズキ労連会長)



静岡県労働金庫 古川理事長  
(前スズキ労連会長)



東北労働金庫 小玉常務理事  
(前スズキ部品秋田執行委員長)

拍手にて可決

### 4)特別決議 第24回参議院議員必勝決議(案)の件 (提案者：鈴木副会長)



提案者の鈴木紀充副会長

拍手にて可決

### 5)退任役員表彰

退任役員

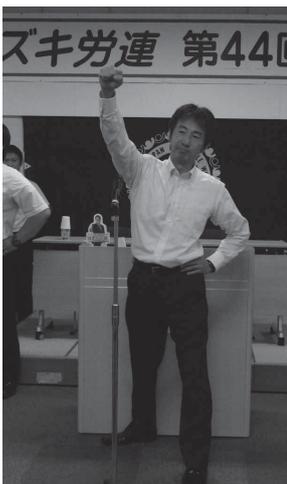
氏 名：鈴木 祥司  
役員期間：40期～43期(2012.9～2015.9)  
役 職：中央執行委員  
出身単組：スニック労組(旧浜松パイプ労組)

氏 名：河合 秀政  
役員期間：40期～43期(2012.9～2015.9)  
役 職：中央執行委員  
出身単組：スニック労組(旧スズキ化成労組)



退任役員を代表して挨拶をする、河合中執

すべての議件・報告が可決・承認され、最後は全員のがんばろう三唱で締めくくりました



がんばろう三唱を行う蓮池中執(スズキ納整)



全員でがんばろう三唱

## 第24回 参議院議員選挙 自動車総連組織内候補予定者

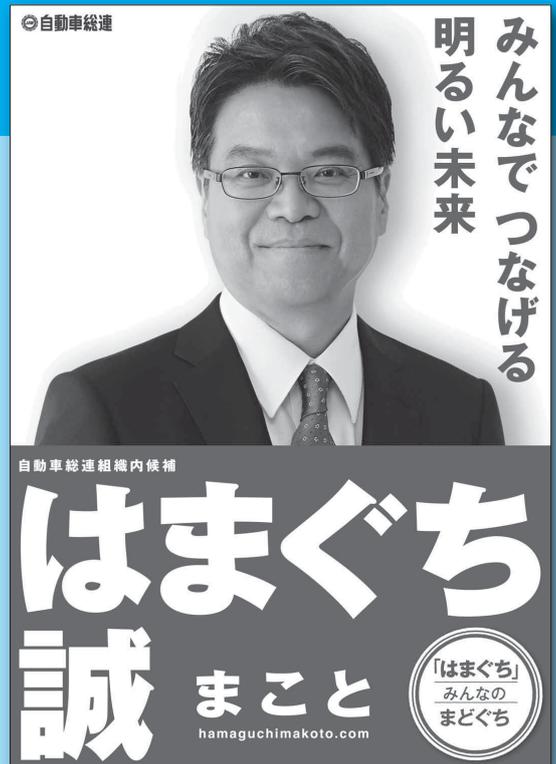
# はまぐち誠

### 【略歴】

- 1988年 筑波大学 第三学群社会工学類 卒業  
トヨタ自動車株式会社 入社
- 1996年 トヨタ自動車労働組合 執行委員(以降 単組・労連専従役員)
- 2008年 自動車総連 事務局次長
- 2010年 トヨタ自動車株式会社 物流企画部(職場復帰)
- 2013年 トヨタアストラ自動車販売株式会社(インドネシア) 出向
- 2015年 自動車総連 特別中央執行委員(現職)

### 【プロフィール】

- 氏名/濱口 誠(はまぐち まこと)
- 生年月日/昭和40年(1965年)5月18日
- 出生地/三重県松阪市
- 年齢/50歳
- 血液型/B型
- 身長/174cm
- 好きな言葉/誠実・信義
- モットー/「ネバーギブアップ」「笑う門には福来る」
- 好きな食べ物/寿司・焼き肉・そば
- 動物に例えると/カバ(いつもやさしいが、いざという時頼りになる)
- 家族とのひとコマ/妻、長女、妻の両親と5人で暮らしています。(現在は単身赴任中)妻と娘にせがまれたときは、献身的にインドネシア流の足つぼマッサージをして喜ばれています。また、妻や娘と買い物に出掛けると、いつも荷物持ちです(笑)



## スズキ労連は「はまぐち誠」を応援しています。

自動車総連組織内候補 はまぐちまこと

公式サイトはこちら → <http://hamaguchimakoto.com>



←こちらからも  
アクセスできます。

「はまぐち」  
みんなの  
まどぐち



仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…  
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

**0120-500-073**

\*月～金 9:00～18:00

**相談無料・秘密厳守**



【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20  
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838  
e-mail : [kaneke@suzuki-union.or.jp](mailto:kaneke@suzuki-union.or.jp)

◇スズキ労連ホームページ◇

<http://saw.gogo.tc/>

\*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙  
共通パスワード… saw2007

### 【編集後記】

久しぶりにバイクに乗る時間ができ、信州最南端、阿南町の千石平の道の駅まで出かけた。この道の駅までのルートが大好きで、かつてライディングテクニックを磨いたのもこの界隈の国道や酷道だ。しかし今回走ると、道がずいぶん整備されていて新しい道ができあがっている。私の大好きな道がなくなってしまうのはちょっと淋しい感じがした。娘の学校の制服が変わる話が出た時、卒業生が猛反対したらしい。「ダサっ」と思われることがあったとしても歴史と伝統と、創設者の精神を守った結果かもしれない。ものごとの流れを変える時、変えた方が良いもの、変えるべきものその理由を明確にしてみんなで議論することが大切ですね。かねこん